

笠川昌彦様

笠川様の日常生活

ヘルパー 安斉裕梨果

笠川様が、筑波キングスガーデンの特養に来られたのは、平成二十九年の十一月十五日の事になります。当初は環境の変化に対して、生活リズムを掴む事や、ユニット内で慣れるまで時間がかかるのではないかと不安な点もありました。しかし、直ぐに馴染んで下さり、自身の生活、各課の新聞読みを大切にしながらも、同席の方へ席を教えてくれたり、職員と会話を楽しまれたりしてコミュニケーションをとっております。

最近では新たな楽しみとして、職員と将棋を指すという事に、大変、熱を入れております。それもただ指すだけではなく、しっかりと勝敗にも拘って行っており、職員では刃が立たない状態です。しかし、同ユニットの利用者の中に同様の将棋相手がいる事を知ると、職員だけでなく利用者との将棋にも力が入る様になり、負けてしまった時の悔しそうな表情や勝った時の嬉しそうな表情に充実感が現われております。もうすぐ入所して半年になりますが、ここでの生活が益々充実する事を願っております。

(NO.356)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139

ひな祭り

ヘルパー 副主任 石塚綾子

三月三日にひな祭り喫茶を行いました。真つ赤ないちごがのったショートケーキと、ぼんぼりをイメージしたムースキーを用意し、ひな祭りの音楽を流して午後のおやつ時間に召し上がりました。準備されたケーキを見てご利用者は、美味しそうだね」と喜んで下さり、ペロリと完食されました。明かりをつけまじよ、ぼんぼりに」と歌って下さる利用者もいて、楽しい時間となりました。前日には、折り紙でお内裏様とお雛様を、利用者と職員で作りました。一緒に作り、完成したお内裏様を見て、かわいねー、貰ってもいい？」と、何度も話して下さったご利用者の笑顔は、とても素敵で、嬉しくなりました。心温まる一時を過ごす事ができました。

あら！
美味しそうな
ケーキだね～

二月

一日 三十三歳 大正十五年三月三日
二日 三十三歳 大正十五年三月八日
三日 三十三歳 大正十五年三月十五日
四日 三十三歳 大正十五年三月十八日
五日 三十三歳 大正十五年三月二十一日
六日 三十三歳 大正十五年三月二十四日
七日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
八日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
九日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十一日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十二日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十三日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十四日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十五日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十六日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十七日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十八日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
十九日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十一日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十二日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十三日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十四日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十五日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十六日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十七日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十八日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
二十九日 三十三歳 大正十五年三月三十一日
三十日 三十三歳 大正十五年三月三十一日

三月の誕生会

三月三日にひな祭り喫茶を行いました。真つ赤ないちごがのったショートケーキと、ぼんぼりをイメージしたムースキーを用意し、ひな祭りの音楽を流して午後のおやつ時間に召し上がりました。準備されたケーキを見てご利用者は、美味しそうだね」と喜んで下さり、ペロリと完食されました。明かりをつけまじよ、ぼんぼりに」と歌って下さる利用者もいて、楽しい時間となりました。前日には、折り紙でお内裏様とお雛様を、利用者と職員で作りました。一緒に作り、完成したお内裏様を見て、かわいねー、貰ってもいい？」と、何度も話して下さったご利用者の笑顔は、とても素敵で、嬉しくなりました。心温まる一時を過ごす事ができました。

お誕生会おめでとうございます

二月の終わりが、理事長を始め、ケアハウスグループホームの施設長、いのかことは社の多胡会長と共に、星野富弘さんを訪ね、群馬県にあるご自宅へ向かいました。今年四月十日から五月十四日までキングスガーデンのぶどうの木で映画展を行うにあたっての事で、お会いする前に、ご自宅の時間になし余裕があったので、お会いする前に、ご自宅の面前に広がる田畑の道を散歩しました。著書に、車いすで散歩する姿が掲載されているの道でした。多胡さんの話では、星野さんはとても散歩が好きなんだそうです。今日歩いて肌で感じるこの風を、詩や画にして来られたんだなと思うと、同じ空気に触れた気がしました。星野さんと夫婦とお会いしました。何も飾らないその雰囲気は、初めての対面をやさしく包み、あつという間の一時間でした。

ご自宅へ向かう道すがら、多胡さんが、風にゆれるべんべん草の歌を歌ってくれました。親交の深い中で、思いの伝わる歌い方だなと感じました。

風は、神様にたとえられます。その土地の風を肌で感じ、星野さんが圧倒的に時間にかけて作られた画は、心地よく吹く風の中で育まれたものなのだと思います。キングスガーデンに来る詩画が、その風を運んでくれますように。

二月のボランティアと実習生

山田国昭様 牧野和子様 山田千恵様 佐藤ゆう子様
高須佳代様 風見とみ子様 岡崎幸治様 大塚満様
矢花光様 協力牧師の方々

いつも尊い働き ありがとうございます。

バレンタイン喫茶

ヘルパー 木村美香

二月十四日、バレンタイン喫茶を各ユニットで行いました。洋菓子のペコちゃん、のほっぺとプリンを準備し、今年はその上に、数種類の色のチョコペンで、各ご利用者、思い思いにデコレーションをしていただきました。器用に絵柄のマークを塗りつぶす人、メガネを描きユニークにする人、自分の名前を書く人、描けないから」と職員に協力を求める人と様々。和気あいあいとした中で、普段とは違う自分だけのオリジナルの物が出来たのではないのでしょうか。利用者と職員の思い出が、またひとつ増えた行事でした。

甘くて美味しいね～

星野富弘 詩画展

星野富弘 花の詩画 ミニアート・ギャラリー展

4.10.10 5.14.10

四月十日から、五月十四日にかけて、地域交流カフェ、ぶどうの木において、展示されます。

期間中 午前十一時から 午後三時まで開場。 コーヒーとケーキを楽しみながら、ゆつくり時間をお過ごし下さい。

期間中の お手伝いをして 頂ける方を 募集しております。 一回でも 結構です。 ご連絡 お待ちしております。

相談員日誌 野田 望

園内研修の時間に介護技術のトレーニングを行った。利用者の上着の着脱について注意点を、上手く介護するポイント、グループに分けて確認した。特養とショートステイのヘルパーと共に、相談員二名も参加した。高齢者の体は、あらゆる疾患や加齢の影響で、硬くなりやすい。また、脳梗塞や脳内出血の既往がある方は、手足に麻痺や拘縮がある方もいる。皮膚状態にも注意が必要で、潤いの少ない、薄い皮膚は皮下出血などの怪我になりやすい。トレーニンング開始の頃に緊張していたヘルパー達も、○さんの場合は、ここが難しい。○さんは衣類も見直したい。力が入らない利用者はどうしましう。と気が付くと相談員から新人職員にも指導する姿があった。

新年度も丁寧に伝えることの大切さを忘れずに利用者や家族、職員と向き合っていくたい。

機関紙はほえみの記事は、筑波キングスガーデン個人情報保護方針に基づき、了解を頂いた上で掲載させて頂いております。